

顧客本位の業務運営に係る取組状況

項目	取組状況
1.【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年10月、当社のホームページをたちあげるとともに「お客様の業務運営に関する方針」を公表しました。 ・2019年5月、「お客様の業務運営に関する方針に係る取組状況」を公表しました。
2.【顧客の最善の利益の追求】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年12月公募投資信託 SBI 地方創生・世界高配当株式ファンド（愛称 7・5・3）を設定しました。 <p style="margin-left: 20px;">〔 当該ファンドは、人生100年時代に向けた資産成長、定率払出しの2つのコースを併せ持つ一生涯にわたって使えるファンドとして設計。 〕</p>
3.【利益相反の適切な管理】	<ul style="list-style-type: none"> ・「利益相反管理方針」を制定するとともに、2018年10月、当社のホームページに公表しました。
4.【手数料等の明確化】	<p>当社は、ファンドの費用（投資者が直接的に負担する費用）として「購入時手数料」「運用管理費用（信託報酬）」「その他の費用・手数料」などを目論見書等で分かりやすく記載するように努めています。</p> <p>また、購入時手数料及び運用管理費用（信託報酬）については、どのようなサービスの対価としてお支払いいただいているのかを明確にしています。</p>
5.【重要な情報の分かりやすい提供】	<p>7・5・3の「定率払出し」について、資産の計画的な取り崩しの一助になるように、販売用資料に決算前基準価額水準に基づく目標払出し金額を例示しました。</p>
6.【顧客にふさわしいサービスの提供】	<p>地域金融機関のお客様向けに適切な公募投信の設定及びコンサルティング営業支援のための研修等を行っています。また、各行の自己資金の有価証券運用を支援すべく良質な運用商品の開発を行い自己資金運用の支援を行っています。</p>
7.【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	<p>入社時にコンプライアンス研修を実施して、コンプライアンスマニュアルの配布と併せて、顧客本位の業務運営の内容について周知・徹底しました。</p>